

平成 29 年 4 月 18 日

小平市長

小林正則殿

## 要望書

私たち市議会公明党は、「大衆とともに」の立党精神をかかげ、「市民のために何をなすべきか」という視点から、市政に対する責任を果たしてきたと自負しています。

その意味から、地域から寄せられた様々な要望を真摯に受け止め、予算要望や一般質問を行ってきたところです。しかしながら今年度の予算については骨格予算となり、政策的な新規事業が予算に反映されないという事態は改めて遺憾だと考えています。

今後補正予算を組まれるにあたり、現場発信の声を中心に届けたく、「住み続けたい街小平」の実現のために必要と考える課題解決策をまとめ、ここに政策提案を致します。

小平市議会公明党

- ・ 緑の確保と充実のため、鷹の台駅西口の都市計画公園等の整備推進。
- ・ 駅周辺地域でのタバコのポイ捨て・路上喫煙の禁止モデル地区を設定する小平ルール<sup>①</sup>の制定と条例化。
- ・ 環境にやさしいエネルギー源の活用のために、公共施設照明機器のLED化の加速化、市庁舎駐車スペースへのEVステーション及び水素ステーションの設置、さらに災害時対応として都営住宅への持続可能な自然エネルギー源としての太陽光発電機器の設置推進。
- ・ もったいないが根付く街・こだいらを実現するため、食品ロス削減の意識啓発並びにドギーバッグの普及活動の推進。
- ・ ゴミ処理基本計画に基づいた家庭ゴミ有料化について、市民の理解を得るための周知徹底。
- ・ 妊娠期から子育て期の親を孤独にしない、出産予定日や子供の誕生日を登録すれば子育てに関する情報や応援がタイムリーに届く子育て応援メールサービスや、ワクチン接種のスケジュールが届くワクチンマネージャーの実施。
- ・ 妊娠・出産・子育ての不安を軽減するために、専門職の配置に基づく「ゆりかご・こだいら事業」の実施と、その拠点となる「子育て世代包括支援センター」の設置。
- ・ 絵本を介して、親と子の心ふれあうひとときを持つきっかけを届けるブックスタートの実施。

- ・ 発達障がい児・者の総合相談などの拠点として、発達障がい支援センターの設置。
- ・ 健康を創るとの視点を持ち、介護支援に関わるボランティア活動に対するボランティアポイント事業の拡大と自らの健康づくりを意識付ける健康マイレージの導入。
- ・ もの忘れ相談医の主旨普及と共に、認知症の早期発見・早期治療に繋げるため、特定健診や定期的な通院時に簡易的チェックリストを活用した医師からのアプローチ強化。
- ・ 高齢者をはじめとした地域コミュニティ向上のために福社会館（和室）への通信カラオケの導入。
- ・ 災害時のきめ細かな対応を進めるため、女性視点の防災ブックを活用した女性防災リーダーの養成と女性防災会議の設置。
- ・ 避難所となる学校の災害対策強化のため、特に洋式トイレ未整備箇所についての代替措置を含めた、マンホールトイレ・体育館トイレ・上置型洋式便座などの整備の加速化。
- ・ 観光まちづくり協会と連携し、観光資源から商店街への誘導策やマーケティングに基づく空き店舗解消のためのマッチング事業など魅力ある商店街づくりへの具体的アプローチの推進